

2019年6月14日

住友生命保険相互会社

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する「ソーシャルボンド」への投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会課題の解決に資する事業を資金用途とする債券で、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券です。本債券の調達資金は、主に開発途上地域におけるインフラ整備など経済・社会発展への取組みを支援する有償資金協力事業に活用されます。

住友生命は、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでおり、本債券への投資につきましても、その一環として行うものです。

今後も、ESG 投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでまいります。

<本債券の発行概要>

発行体：独立行政法人 国際協力機構（R&I 格付：AA+、S&P 格付：A+）

発行額：総額 200 億円

年 限：10 年、20 年

以上